

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年11月5日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、説明をさせていただきます。

まずは「1. 原子力規制委員会について」。

(1) 第40回原子力規制委員会、議題は5つございます。

議題1「関西電力株式会社大飯発電所3号炉及び4号炉の発電用原子炉設置変更許可申請書に関する審査の結果の案の取りまとめについて（案）－緊急時対策所設置等－」。こちらは、関西電力・大飯発電所3号機、4号機の設置変更許可に関しまして、新たに設置する緊急時対策所建屋に関し、その中に3号機と4号機共用の緊急時対策所を設置するなどの変更の申請がございました。その審査の結果の案を取りまとめるとともに、原子力委員会及び経済産業大臣への意見聴取の実施等について、委員会に諮るものです。

続きまして、議題2「中深度処分及びウラン廃棄物の処分等に係る今後の規制基準の整備について」。こちらは、放射性廃棄物の中深度処分やウラン廃棄物の処分に関しまして、規制基準をこれから検討することとしております。そのために今後の作業方針を委員会に報告し、議論をしていただくものです。

続きまして、議題3「東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業に係る規制事務所の気づき等について」。こちらは10月30日の原子力規制委員会におきまして、福島第一原子力規制事務所の所長より、委員会の場で廃炉作業の状況等について報告するよう指示を受けたことを踏まえたものであります。

続きまして、議題4「経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）原子力規制活動委員会（CNRA）安全文化ワーキンググループ（WGSC）第5回会合の結果概要について」。こちらは、伴委員が10月29日から3日間、フランスで開催されましたOECD/NEAの安全文化ワーキンググループに参加されました。その結果の概要について、伴委員から報告がございました。

続きまして、議題5「原子力規制国際アドバイザーと原子力規制委員会との意見交換会合の実施について」。こちらは本日後ほど行われます国際アドバイザーとの意見交換会

合の状況について、報告があるものであります。

続きまして、(2) 第41回原子力規制委員会臨時会議、こちらは11月6日水曜日、18時から行われます。

議題は「九州電力株式会社川内原子力発電所の保安規定の変更認可に係る執行停止の申し立て及び異議申立てに対する決定について」。こちらは10月17日の臨時会議、同じ議題でしたけれども、それが継続審理となったため、今回、改めて開催されるものです。

続きまして「2. 審査会合、会見などについて」ですが、3ページまで飛んでください。

真ん中です。11月7日木曜日、(7) 第794回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは議題が2つございます。

1つは、関西電力・美浜発電所3号機と高浜発電所1・2号機の保安規定の変更認可に関しまして、まず、美浜については8月27日の会合、高浜については10月15日の会合におきまして、運転上の制限、いわゆるLC0の考え方に関してコメントがあったので、そのコメント回答を受けるものです。

もう一つの議題が、日本原電・東海第二発電所の特定重大事故等対処施設の設置変更許可に関しまして、10月29日に申請の概要の説明を受けたところですが、今回、追加でその概要説明を受けるものです。

続きまして、1枚おめくりいただきまして、4ページ目、お願いいたします。

11月11日月曜日、(11) 第313回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合、議題は4つございます。

議題1は、日本原子力研究開発機構(JAEA)の原子炉安全性研究炉、いわゆるNSRRの設計・工事方法認可に関しまして、設工認の対象機器・設備の整理を行うとともに、消防設備に係る9月17日の申請内容について、説明を受けるものです。

議題の2つ目は、同じくJAEAの研究用原子炉(JRR-3)の設計・工事方法認可に関しまして、これも同じく設工認対象機器・設備の整理を行うとともに、補助ポンプに係る溢水評価の申請内容について、説明を受けるものです。

議題3は、これもJAEAの定常臨界実験装置(STACY)の設計・工事方法認可に関しまして、やはり設工認対象機器・設備の整理を行うとともに、8月30日の補正申請の内容について、説明を受けるものです。

最後、議題4です。こちらは京都大学の臨界集合体実験装置(KUCA)の設置変更承認に関しまして、6月17日の会合で規制庁が示した質問書のうち、事故解析に関する質問に関して、設置者から回答を受けるものです。

最後「3. その他」の(2)となります。令和元年度放射線対策委託費(放射線安全規制研究戦略的推進事業)第2回研究評価委員会。

こちらはちょっと議題をまとめて説明させていただきますと、平成29年度から始まった放射線安全規制研究戦略的推進事業に関しまして、議題1にございます研究評価委員

会の構成員の追加、また、議題2にございます中間評価、これは3件の事業について中間評価を行う必要があるため、その照会を行うこととなっております。この構成員の追加と照会に関して、研究評価委員会の開催を行うことが困難なために、書面で審議を行うものです。今回、この会合の案内について、書面審議ですけれども、開催のお知らせをしていくため、ここに記載させていただいております。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

明日の議題3なのですが、先週、委員長が指摘していた福島第一原発の廃炉に関して、人が足りないのではないかというようなことに関して、現場の規制所長さんをお呼びと、そういうことですね。

○児嶋総務課長 そのとおりです。そういうところも含めて、いろいろな御意見というか、感想、気づき事項をおっしゃると思います。

○記者 これは人がいないことのバックグラウンドについても、先週、何か話があったと思うのですが、何か組織替えをやっていて、それで、どうも東京電力は不採算部門に人を回していないのではないのかと、そういうような中身のお話につながるような話なのですか。

○児嶋総務課長 すみません。そこはちょっとそのときの話の展開次第かと思います。

○記者 では、それは明日委員長に聞きます。ありがとうございます。

○児嶋総務課長 よろしく申し上げます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。タケウチさん。

○記者 共同通信のタケウチです。

明日の議題2の中深度処分とウラン廃棄物に関して、作業方針について説明されるということでありましたが、これは具体的には、例えばスケジュール感とか、そういうものを含めてなのでしょうか。

○児嶋総務課長 スケジュール感も含まれておりますが、とりあえずは、まず、大体この時期にこういう項目について意見を聞くとか、自分たちで内容をまとめると、そういったもう少し大まかな方針です。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—